

平成 28 年度第 1 回仁淀川清流保全推進協議会 議事要旨

日 時 : 平成 28 年 6 月 27 日 (月) 13 : 30 ~ 15 : 10

場 所 : いの町 かんぼの宿伊野 1 階 会議室

■ 寄付贈呈式

○ サニーマート株式会社

仁淀川流域の 3 店舗、サニーマート伊野店、サニーアクシスイの店、サニーマート高岡店より、「マイバック推進」の活動による地域応援の品（水切り袋 390 組）を仁淀川の清流保全活動に役立てて欲しいと、平成 24 年度から、引続き当協議会にご寄付いただけることになり、寄付贈呈式を行った（※「マイバック推進」の活動は平成 23 年度から。1 年間の寄付を集めて翌年度に協議会に水切り袋を寄付）。

○ 有限会社高知アイス

仁淀川を望む場所に位置する高知アイス売店より、ソフトクリームの販売の一部を子供たちの環境学習に役立てて欲しいと、平成 28 年 1 月 20 日に締結した「高知県清流保全パートナーズ協定」に基づき、当協議会にご寄付いただけることになり、寄付贈呈式を行った。

■ 平成 28 年度第 1 回仁淀川清流保全推進協議会

○ 事務局より委員の紹介

- ・出席 9 名、代理出席 2 名、欠席 2 名

○ 議題

(1) 役員改選及び監事の指名について : P1

事務局より、仁淀川清流保全推進協議会設置要綱に基づき、役員の改選について説明。

石川会長、井上副会長の留任要請の発言があり、各委員より異議がなく、承認された。

監事について、石川会長より森谷委員、中澤委員へ指名（留任要請）があり、両委員の了承をもって、留任となった。

(2) 平成 27 年度事業報告及び決算について : P2~P14

事務局より、資料 2 に基づき、平成 27 年度事業報告及び収支決算を報告。中澤監事より監査報告があり、特に異議がなく、承認された。

(石川会長)

- ・昨年度のシンポジウム（日高村開催）は、地元の広報誌で呼びかけてくれた

おかげで多くの参加者があった。今年度も協力をお願いしたい。若い世代（親子、高知大学等）に来てもらえることが大事と考えており、今後も若い人に参加してもらえるようなシンポジウムにしたい。

(3) 平成 28 年度事業計画及び収支予算について：P15～P27

事務局より、資料 3 に基づき、平成 28 年度事業計画及び収支予算について説明。

【仁淀川一斉清掃について】：P18～P21

特に異議がなく、承認された。

【仁淀川シンポジウムについて】：P22～P26

(山崎委員)

・高知大学の地域協働学部は全国的に注目されており、シンポジウムに参加してもらって、シンポジウムを担うような人が出てくれればよいと思う。

(石川会長)

→ ・仁淀川の流域も高齢化が進んでいるように思う。
高知大学や高知県立大学、流域の小中高校など、若い人が多く参加してくれるような仕掛けも必要だと思う。

(事務局)

→ ・資料の P9 にも記載しているように、昨年度は高知大学、農業大学校へチラシの配布を行った。今年度も継続したい。

(新宅委員代理清水副所長)

→ ・物部川のシンポジウムで実施しているように若い人が参加できる企画も重要であると思う。大学生の参加があつて、活気があるように思えた。流域に学校があれば先生の積極的な参加も期待できるし、山の話等も活気があつた。

仁淀川でも学校への働きかけが重要だと思う。

(石川会長)

→ ・各委員へ、仁淀川流域で活動している若い人への声かけや事務局への紹介をお願いしたい。

(大下委員)

・川で遊ぶ人が多くなったり、観光で賑わう事は大変喜ばしいことであるが、一方で川には危険性もある。

危険箇所マップ等が全国的に出回っており、高知県としても危険箇所を知らせることは重要だと思う。

(石川会長)

- ・何かあった場合のことを学べる機会があればよいと思われる。
川の危険箇所マップは国土交通省で作成等しているのか。

(新宅委員代理清水副所長)

- ・毎年、直轄管理区間のマップを印刷物として作成し、一般向けに配布しており、コンビニ等でも置いている。また協議会の場でも紹介したい。

(石川会長)

- ・今年度のシンポジウムについて、各委員から意見をいただいたが、事務局案で進めてよいか。

(各委員)

- ・了解（異議なし）。

【河口域ごみ分析勉強会の実施について】：P26～P27

(山崎委員)

- ・開催場所や集合場所が分かりにくい。

(事務局)

- ・場所は、観光交流施設「南風（まぜ）」の予定。
左岸側（東側）は視察と説明のみで、右岸側（西側）で清掃等を予定している。位置は、後日、案内文で明示する。

(石川会長)

- ・ゴミを拾い終われば、達成感にも期待できるし、さらにごみの出所を考察し、結果を一斉清掃やシンポジウム等で、皆で共有できるようにしたい。

(高橋委員代理内村課長)

- ・現地での分類方法（例：個数をカウント）等、詳細はこれから詰めていく。
結果はHPで公表もしたい。

(新宅委員代理清水副所長)

- ・河川愛護月間（7月）の行事で7月3日に仁淀川、物部川（直轄管理区間）で一斉清掃を予定しており、海岸の一斉清掃も実施予定。かなりの人数が参加予定でごみが減る可能性もある。

(石川会長)

- ・一斉清掃開始前の写真の提供をお願いしたい。

(新宅委員代理清水副所長)

- ・毎年、大きいごみもあり、状況を報告する。

(中澤委員)

・当日（8月7日）はいの町で町民祭の予定がある。解散時間や雨天時の予定を教えてほしい。

(事務局)

→ ・解散は昼過ぎの予定。
小雨決行で、雨天で決行できない場合は、一斉清掃時に延期する。

(新宅委員代理清水副所長)

→ ・波浪注意報にも留意してほしい。

(板原委員)

→ ・7月3日から8月7日の間で1回の台風でも状況が大きく変化する可能性が高いため、7月3日の写真が大事だと思う。

(大下委員)

・河口域は、パートナーシップ交流会で春先に両岸とも清掃しているが、特に左岸側では毎年取り切れない状態。右岸側（土佐市側）がきれいでも、左岸側をよく見てほしい。（講師としても）こういうごみが多いという話をしたいと思う。

また最近、定点で写真撮影を行っているが、清掃後ごみの量が徐々に増えているように感じており、協議会でも紹介したい。

(石川会長)

→ ・上流の人にも呼びかけし、多くの人に参加してもらいたい。

(森谷委員)

・山についても河川との関わりが深い。シンポジウムでも山の様子を知りたいといった意見が見られる。

四国森林管理局でも、小・中・高等学校において森林学習会を開催していることから、今後、ご要望があれば、仁淀川清流協議会での学習会の開催等で協力していきたい。

(石川会長)

→ ・今年度はシンポジウムでごみの問題の意見が最も多かったことから、河口域でのごみの勉強会を予定しているが、山も川との関わりが深い。山の勉強会も開催したい。

(事務局)

→ ・仁淀川漁協主催の「親子ふれあいバスツアー」において、水は森の恵みというテーマで講演している。多くの方に森と水のつながりを周知していきたい。

(板原委員)

・仁淀川漁協主催のイベントとして、7月3日のバスツアーに加えて、8月28日はシンポジウム（大人向け）があると聞いている。本協議会主催のシンポジウムと誤解の生じないように周知していく必要がある。

(事務局)

→ ・周知を徹底する。

(細川委員)

→ ・バスツアーが河川愛護月間行事の一斉清掃の日と重複しているが、定員にすぐに達するなど人気が出てきている。子供の夏休みの自由研究にも活用しているようだ。

(石川会長)

・河口域ごみ分析勉強会について、各委員から意見をいただいたが、事務局案で進めてよいか。

(各委員)

→ ・了解（異議なし）。

(4) その他

(中澤委員)

・「仁淀ブルー観光協議会」として、4月から活動している。事業費に対して何倍もの効果が出ているという試算結果もあり、今後も力を入れて取り組んでいく。

土佐の豊穰祭について、これまでは9月下旬にいの町で開催していたが、今年度は土佐市（南風：まぜ）で10月8日に開催予定であり、参加をお願いしたい。

(森谷委員)

・今年度から8月11日が「山の日」として制定された。上高地でのイベントを予定しており、色々な方に案内をしていきたい。

また、毎年、伐採・植樹・治山等の現場を見て、議論する国有林モニター制度（約30名／年）を年3回程度開催している。昨年度は徳島のかずら橋付近の地すべり現場で開催した。

この取組についても、情報発信していきたい。

(大下委員)

・私どもは平成18年度より仁淀川パートナーシップ交流会に参加し、年3回

清掃活動を継続しており、担当する範囲においてはごみも減少していると感じている。ただし、担当が決まっていない範囲については依然ごみも多い。

またパートナーシップとは別に、河川協力団体として直轄管理区間において、ゴミの多い場所を掃除したり、特定外来種（オオキンケイギク）の調査を行っている。新しい制度の中で新しい課題にも取り組んでいる。

(石川会長)

→ ・パートナーシップとは別でとは、「河川協力団体制度」のことか。参加するにはどのようにすればよいか。

(大下委員)

→ ・河川協力団体になるには過去5年のボランティア実績が必要になる。

(新宅委員代理清水副所長)

→ ・「河川協力団体制度」について、別途情報提供させていただく。

以上。